

朝 礼 拜 順 序 (午 前 10 時 半)

司式 熊田雄二 牧師

前	奏	
開	會 招 詞	
*	賛 美 歌	2 主のみいつとみ栄えとを
*	開 会 祈 禱	
	罪 の 告 白	祈禱書 2
	罪の赦しの宣言	
	十 戒	祈禱書 4
*	賛 美 歌	71 それ神はその独り子を
	公 同 の 祈 禱	祈禱書 16 復活節③主の昇天・牧会祈禱
献	金	(黒)教会活動(赤)東日本伝道協議会を覚えて 70

毎週の礼拝献金については、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。

毎月の教会献金(月定)についても、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。

イースター献金も覚えてくださいますように(予算 40 万円)。

聖	書 朗 読	ルカによる福音書 24 章 25~49 節 (新約 160 頁)
説	教・祈 禱	聖書論⑦「聖書解釈の原則 2」 熊田牧師
*	賛 美 歌	41 神はわが力
*	主 の 祈 り	祈禱書 1
*	頌 栄	63 あめつちこそりて
*	祝 禱	
後	奏	
報	告	

長老

- 本日
- 9:30 こひつじ科・中高科礼拝&分級:中止
 - 9:45 成人科分級:中止
 - 9:50 礼拝準備祈禱会:中止
 - 10:00 小会祈禱会:ネット
 - CS成人科各会=男子会・婦人会・青年会 中止
 - ※ 夕拝:中止
 - * 200円の昼食は9月末までありません(感染拡大防止および夏季:執事会)

- 次週
- 9:30 こひつじ科・中高科礼拝&分級:中止
 - 9:45 成人科分級:中止
 - 9:50 礼拝準備祈禱会:中止
 - 10:00 小会祈禱会:ネット
 - CS成人科懇談会 中止
 - 常設委員会=礼拝・伝道・教育・文書/CSこひつじ科教師会 中止
 - ※ 夕拝:中止
 - * 200円の昼食は9月末までありません(感染拡大防止および夏季:執事会)

聖書にかんする信仰の宣言 九

(ウエストミンスター信仰告白本文)

聖書解釈の無謬の規準は、聖書自身である。従って、どの聖句の（多様ではなくて、ひとつである）真の完全な意味について疑問のある場合も、もっと明らかに語る他の個所によって探究し、知らなければならない。

(宣言本文)

聖書は、キリストにおける神の和解のみわざに対するその証言に照らして、解釈されなければならない。

神はその救いの啓示を、聖なる人々によって漸進的に与えられた。神は、啓示と靈感の神であると同時に、摂理と恩恵の神でもあられる。聖書の生成は長期間の実に複雑な過程であり、そこには無数の極めて多様な神の諸活動が含まれており、そのすべてが聖書の生成に関係している。聖書記者たちは、この神によってそれぞれ異なる性質と才能と教養を与えられ、支えられ、導かれて、それぞれの時代に普及していた言語や慣用句や文学様式を用い、また、さまざまな伝承や歴史的資料を用いて、誤りなく神のみ言葉を書きしるした。

従って、聖書を解釈するにあたっては、その文章が書かれた時の歴史的状況と文学様式に考慮を払い、文献的歴史的理解をもって近付かなければならない。そこで、私たちは、歴史における聖書の位置と背景、ならびに聖書の性質と目的をよりよく理解する助けとなるような聖書の研究は、これを歓迎する。

聖書全体が神的性格と人間的歴史的な性格との両面を備えていることを、正しく認めることによって、教会は、聖書のもろもろの言葉の中に神のみ声を一層よく聞きとることができるのである。

心が疲れている方 不安やストレスの中にいる方々のために

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」
(マタイ 11:28)

I 不安や恐れを打ち明けましょう

① 自分の不安や恐れを、祈りの中で、神様に正直に打ち明けましょう。

- ・私たちが不安や恐れ、悲しみや怒りを感じるのは、心を持つ人間として当然のことです。イエス様も悲しみや恐れを感じて、父なる神様に訴えられました (マタイ 26:37-38)。

② 家族や友人、特に信仰の友や牧師に、相談してみましょう。

- ・直接会えない状況では (メールもいいですが) 電話で直接話すことによって心が落ち着くことがあります。
- ・「祈っています」と言うよりも、できれば電話越しにでも、共に祈るようにしましょう。

II 心を落ち着かせてあげましょう

① 不安を駆り立てる報道から、心を自由にしてあげましょう。

- ・テレビ・インターネット・ラジオの報道に長時間接することは、有害です。
- ・「すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと…、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい」(フィリ 4:8)

② 確かなことを、心に語りかけてあげましょう。

- ・何があろうと神様は共にいてくださいます。すべては神の御手の中で起こります。
- ・判断が分かれる状況では、神様にお委ねして最善を尽くしましょう。どの道を選んでも、主は共にいてくださいます。

III 心と体を動かしましょう

① 一日一日を楽しく有意義に過ごす方法を捜してみましょう。

- ・今の困難な時を脅威としてではなく、新しいことにチャレンジする時と捉えましょう。
- ・生活改善などライフスタイルを変えるにはとてもいい機会です。
- ・家族皆で家事を分担しながら、一緒に協力して乗り切りましょう。

② 目の前の現実とは関係のないことに集中する時間を作りましょう。

- ・日頃読めなかった本 (信仰書) を読んでみましょう。大作や長編もいいかもしれません!
- ・聖書 (例えば詩編) のことばをノートに毎日少しずつ書き写して行くことも有効です。
- ・“手作業”をする趣味や、料理・洗濯などをいつもより丁寧に、心を込めてしてみましょう。

③ バランスの良い食事や十分な睡眠、適度な運動をとることを心がけましょう。

- ・天気の良い日は、外に出て深呼吸したり、散歩したり、少しからだを動かしましょう。
- ・多量のカフェインやアルコールの摂取はできる限り控えましょう。